

令和4年度第1回美波町総合計画審議会 議事概要

日時：令和4年11月11日（金）19時00分～

場所：美波町役場2階会議室

出席者：

（美波町関係者）

影治町長、岸本政策推進課長、福岡政策推進主査

（美波町委員15名）欠席1名

床桜委員（会長）、遊亀委員（副会長）、片山委員、岡本委員、網干委員、浜口委員、
豊崎委員、奥村委員、丸西委員、酒井委員、吉田委員、川口委員、向山委員、春田委員、
（山崎委員 ※ウェブ参加）

（支援業者 ジャパン総研2名）

会議次第

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 会長及び副会長の選出
- 4 議事
 - (1) アンケート調査等の結果報告について
 - (2) 第3次美波町総合計画の策定方針について
- 5 その他
- 6 閉会

会議資料一覧

- ・第2次美波町総合計画後期基本計画
- ・第3次美波町総合計画策定に関するアンケート調査 【結果報告書】
- ・前回アンケート調査との比較表
- ・「第3次美波町総合計画」策定にかかる一般ワークショップ 実施報告書
- ・「第3次美波町総合計画」策定にかかる中学生ワークショップ 実施報告書
- ・第2次美波町総合計画
- ・第2次美波町総合計画 概要版

会議経過

- 1 開会后、町長挨拶。
- 2 会長及び副会長の選出。
- 3 事務局より会長及び副会長の選出
- 4 床桜会長が会議を進めた。
- 5 議事（2）について、事務局が資料に基づき説明を行った。
- 6 議事（1）について、ジャパン総研が資料に基づき説明を行った。
- 7 閉会

主な質疑等、議事の概要は以下の通り。

◆議事（2） 第3次美波町総合計画の策定方針について資料に基づき、事務局から説明。

◆議事（1） アンケート調査等の結果報告について

資料「第3次美波町総合計画策定に関するアンケート調査 【結果報告書】」

「第3次美波町総合計画策定にかかる中学生ワークショップ 実施報告書」

「第3次美波町総合計画」策定にかかる一般ワークショップ 実施報告書」に基づき、
ジャパン総研からそれぞれ説明。

※床桜会長より資料に関して補足説明

【委員】

アンケートの回収率が33%は少し低いと思います。他自治体と比べてアンケートの取り方に問題はありませんか。また、回答しても無駄とされているのであれば由々しき事態です。期待されていないとすれば、町長はどうお考えでしょうか。

移住者を優遇しすぎているという意見が多いようですが、移住者優遇の制度、差別的なポイント、移住者の定義など、町としての捉え方をご説明ください。

町職員が町内に住んでいないようですが、職員の町外居住比率を教えてください。町職員が町内に住めない、住みたくない理由を分析するのが重要ではないでしょうか。

→事務局)

アンケートに関しては無作為ですが、階層ごとで分けて取っています。単純に層ごとの割合で調査をすると、高齢者層の比率が高く、回答率もいいので回収率自体は上がりますが、10年後のことを考え、できるだけ若者にも回答してもらうため、若者の抽出数を多くしました。そのために回収率が低くなったと考えられます。

【委員】

若者向けにスマートフォンでの回答等、改善をしてください。

→事務局)

今回は WEB 調査も考えたいと思います。

移住者優遇に関して、議会でも定住促進事業で住宅改修補助に関して移住者が優遇されているのではないかとされます。空き家改修費用の3分の2を補助する制度ですが、当初は移住者のみでした。しかし平成29年度から住民も使えるようになり、特に移住者優遇ではありません。

町職員の住居に関して、数年前からHPなどで職員を広く募集しており、以前に比べると町外からの就職が増えているのも一因だと思います。町外の職員がいるのは庁内でも把握していますが、町内に居住するよう強制はできません。また、町外に住む理由も把握していません。

【委員】

町職員というのは町の実態を一番知り得る立場です。そういう人が町外に引っ越しているという町の実態が住民に知れば、出て行く人が増えるのではないかと懸念があります。町職員が町外に住む理由が問題ではないでしょうか。

【委員】

第3次計画を策定する上で過去の計画を検証したうえで、将来像・ビジョン・政策・施策・事業を作る必要があると思います。その検証が3回の会議でできるのでしょうか。

→事務局・ジャパン総研)

総合計画は基本構想部分と基本計画部分に分かれており、基本構想部分で将来像をお示しします。それに基づいて基本計画を作りますが、基本構想をしっかり作りこんだのちに作成していく必要があります。会議は3回ですので、今回は基本構想を作りこんだうえで、基本計画案を事務局から提示します。

【委員】

町の方針の「にぎやかそ」の認知度が61.2%、移住促進のための取組があることを知っている方が69.7%もあることに驚きました。人口減少の中、企業誘致や若者が定住できる取組はあまりできていないと思います。美波町に住んでも、働く場所がなければ町外に出てしまうので、企業誘致は町を中心に真剣にやっていただきたいです。

【委員】

県では洋上風力発電に関する部署ができるようですが、今後美波町にも関わってくる可能性があります。由岐と木岐の管内では、民間の会社が小規模の風力の基礎データを取っています。将来本格的に洋上風力発電が行われると、景観や観光の点から総合計画にも関わってくるのではないのでしょうか。

喫緊の課題として、恵比須浜地区の開発があります。大規模災害時の緊急物資を搬入するため 2000 t クラスの船が着岸できる岸壁を増やす、1 万 t クラスのクルーズ船を誘致する等の県の計画がありますが、そういう計画がいいのか、浜を活かした観光計画がいいのかを議題にしてください。どのような開発がいいのか、漁業者だけでなく広く地域の人にも考えてほしいと思います。

【委員】

片山委員の意見を踏まえて、人口問題に関しては自然増・社会増の 2 パターンしかないと思います。どちらかを重視するのか、全方位的な計画にするのか方針を示してください。

→事務局・ジャパン総研)

基本点として、総合計画は広い施策なので重点施策で入れることは可能ですが、他の施策とのバランスもあり、細かい点まで書くのは難しいです。

また、総合計画は義務計画から外れたので、立てない自治体も増えています。美波町では「まち・ひと・仕事総合戦略」で人口問題などに関しては細かく分析しているので、総合計画に記載しない方向です。

【委員】

内容はわかりました。策定にあたっては、美波町における各計画などの関連性等も理解したうえで計画を立てた方がいいと思うので、そういった資料を委員向けに頂けたらと思います。

(※床桜会長より各委員へ意見を促した)

【委員】

美波町に住みたい人はかなりいると思いますが、内閣総理大臣賞に恥じない計画に皆さんと一緒にしたいなと思います。

【委員】

商工会の視点では、美波町には不便なところも多々ありますが、改善し住みよいまちにしたいと思います。総合計画の流れも踏まえられたらいいと思います。

【委員】

次回までに資料をしっかりと確認しておきたいと思います。

【委員】

6年前に町に採用され、子どもと一緒に移住してきました。中学3年の子どもに、以前住んでいた町とどちらがいいか聞いてみると、こちらの方がいいと答えてくれました。その魅力を総合計画の中でどう発信できるかを考えたいと思います。

【委員】

中学生アンケートの「将来やってみたい仕事」に関して9名が「記載なし」という結果に、将来の夢がないという怖い現象が起きていると感じました。

各自治体では「記載なし」がどのくらいあるのか気になります。

→ジャパン総研)

全体の3割という数字はやや高いと思います。ワークショップ中は楽しくにぎやかでしたが、夢の話をする手が止まる生徒もいました。自分たちのビジョンが見えない子どもたちに対して、大人がしっかり話していく必要があると思います。

【委員】

美波町全体がまとまって取り組める計画にしたいです。

時代の移り変わりの方向性を踏まえながら議論していくことが大事です。また、地域の人々が楽しく暮らせるまちづくりが、将来を担う人たちや移住者に魅力を発信できると思うので、話し合いの中で意見を踏まえながら良い計画にしていきたいと思います。

【床桜会長】

まずビジョンをしっかりと共有することが必要で、各計画との関連性も重要です。また、状況は常に変化しているので根幹を押さえながら、進化するような計画が必要になってきます。そのあたりを整理して分かりやすく次回提示したいと思います。また今回の会議の内容を検証しつつ議論を深めていきましょう。

【委員】

次回の会議のために、今回の委員の発言や議論をフィードバックしたものをください。

【委員】

重要度と満足度が見える形にして、ワークショップの内容を入れる等見えやすくしているのは分かります。ただ、全3回という会議の中で、次は基本構想から基本計画・検証と非常にタイトなものになりますので、この総合計画という最上位の計画をどうまとめていくのか次回の審議会の際は細かく図る必要があるかと思えます。

【委員】

進め方のところでご提案ですが、わたしなら10年計画を立てる上で未来年表のような形をメンバーで共有していく形はどうかと思えます。

今回どの委員も分野が違いと得意分野も違うので、未来目標のような共通目標を決めて、全体で共有して話し合うといいと思えますが、いかがでしょうか。

⇒ジャパン総研)

それであれば、SWOT分析がいいと思えます。町の強み・弱み・機会・脅威を提示しますので、議論していただき、それが施策につなげられると思えますので事務局側と協議したいと思えます。